

湘南通信

SHONAN LINKING PAPER

暮らし向き湘南流

特集

草木のいのちを
纏う衣

初春号





ので、気ままに無理のないペースで小さな催しを聞いているのかなと思っています。季節の花を愛でる会や朗読の会、音楽会など、ここを活かして何ができるか考えるだけでも楽しくなりますね」

原さんはこの家に「山帰来」という名前を付けました。

「大好きなサンキライの実から付けました。文字通り人が行ったり来たりして、豊かなものが生まれるといいなと思います。若い頃は箒も使えない、掛け軸の扱い

のをいただいと感謝しています」

温かい交流が広がる場所に
そんな原さんがいつしか願うようになってのは、この家を自分だけのものにしな
いで開放し、たくさんの人と人が出会い、
交流が広がるような場所にすること。
「心惹かれた陶芸家の作品展を一度こ
こで開催してみたら、皆さんにとても喜
んでいたただけなんですよ。嬉しかったで



すね。友だちや家族も応援してくれる

やりたいことがたくさんあって夢が膨らむ毎日です」

春になったら桜の花の下で楽しい集まりを開きたい、と原さん。様々な経験を重ねてきた今だからこそ、機が熟し、花開く想い。自然と心通わせながらあるがままに生きることの素敵さが、生き生きとしたその表情から伝わってきました。

原 庸子さん

茅ヶ崎市中海岸在住。



WIZOJA

MIZUTANIの姿勢

會議

活でご予約の上、お出かけください。



172

シヨン内